

■ホリバタとは

青少年市民協働センター（中央公民館の1、2階）の通称。そこで取り組む事業が「青少年市民協働センター（ホリバタ）事業」です。

個人・団体・企業等と行政が協働して、ふるさと宇和島を未来につなげる、持続可能な地域社会の創り手を育成する、公民館の一事業です。
中学生～39歳の青少年（ホリバタ世代）を主な対象としています。

中央公民館が、ときに休憩場所や自習場所として、ときにイベントスペースとして等、若者の活動拠点になることを目指し、令和2年度からスタートしました。

- ①若者や市民団体の「居場所づくり・活動拠点づくり」
 - ②様々なイベント企画による「きっかけづくり」
- を行っています。

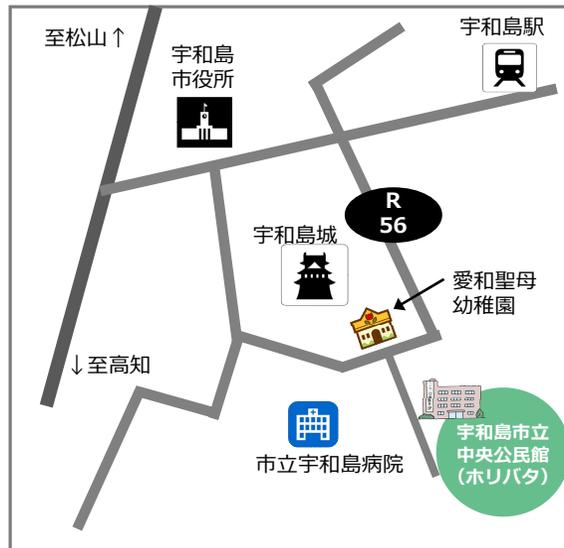
■リーフレット03に寄せて

3年目の今期は、「ホリバタ事業が目指すものが何か」や「ホリバタがどんな場所なのか」を改めて整理して、視察を受けた際の説明や講演などでお伝えしてきました。

皆さんに知ってもらった上で、利用してもらうこと。知っている方を広げ、理解者や応援者をつくっていくこと（認知→理解→応援）を、これからも一歩ずつ、進めていきます。

利用者数の推移（延べ人数）

- R 2年度 5,115人
- R 3年度 5,764人
- R 4年度 8,586人（R 5年2月15日時点）



■Contact

宇和島市立中央公民館（ホリバタ）

〒798-0050
愛媛県宇和島市堀端町1-25
TEL 0895-49-7112
Mail u-chuuo-ph@city.uwajima.lg.jp
休館日 月曜日・祝日
(月曜日が祝日の場合は火曜日も休館)



* 公民館屋上から仰ぐ天守

青少年市民協働センター事業
X Horibata
ホリバタ

03



2023年2月発行
宇和島市立中央公民館



ひとりひとりの 使い方に 寄り添うホリバタ



おしゃべりも
勉強も
飲食も
休憩も
自由自在

ひとりでも、グループでも
気軽に、気の向くままに



登録団体なら
ホリバタの部屋利用も



HORIBATA.CHUOKUUMINKAN



LINE@540bfxrh

ホリバタは 「君の世界を拡げる場所」



ホリバタ事業は、中高生を中心とした若者が、多様な価値観や未知の世界などに会うきっかけを創ることで「興味関心や未来への選択肢を広げたい」と考えています。

イベント例

- ・プロから仕事の最前線やキャリアを聴いたり、メッセージをもらおうトークセッション
- ・大学生と中高生と一緒に、当事者として地域と関わる素地や視座を養うプロジェクト
- ・多様な分野や最先端の研究を知ることができるオンライン講座
- ・中高生と、大学生や若手社会人などの世代を越えた交流会

参加者からは、「ホリバタのおかげで、自分の中の選択肢が増えました」とか「まちへの期待が高まりました」などのコメントが寄せられています。

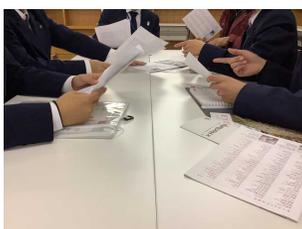
トークセッション



オンライン講座



打ち合わせ



フィールドワーク



大学生との交流会



グループでの利用



サードプレイス 「君の第3の居場所」



そのきっかけづくりの場として、日常でヨリモチできる、学校や職場でもない第3の居場所・活動拠点を整備しています。

BGMが流れるラウンジは、おしゃべりや勉強、休憩や飲食、テーブルゲームや卓球、などのアクティビティーも楽しめる賑やかな場所。静かに勉強などができる自習室も。ひとりでもグループでも、それぞれの形に合わせて利用されています。

利用者からは、「こういう場所が私たち若者には必要だ」とか「友だちと笑い合ったり、勉強に集中できる、ホリバタ3150（サイコー）」「（コロナ禍で）制限ばかりだったけど、ホリバタにいる時間だけは楽しかった」などのコメントが寄せられています。

ラウンジ



カードゲーム



自習室



ひとりでのおんぼり



教え合って勉強



玄関先にて



ホリバタのトリセツ

1階ラウンジは、にぎやかなホリバタ世代の空間

BGMや歓声が聞こえる場所です

BGMが流れて、時にはグループから歓声も聞こえるにぎやかなラウンジは、ホリバタ世代優先の場所。



若者がさまざまな「きっかけ」と出会い、活動・交流拠点になるスペースです。ソファーや長椅子など、お気に入りの「推し席」見つけに、気軽にヨリモチしてください。

飲食できるのがホリバタのいいところ

電子レンジ・給湯ポットが使えます

休日やテストの日など、お昼を挟んで利用する人が多いので、ラウンジ内にレンジと給湯ポットを設置しました。

ただし！「食べてもいいけど、ゴミは持ち帰りましょ」がルールです。気持ちよく使ってください。



Information

視察・見学、受け入れていきます

市内外から「視察したい」と連絡をいただくようになりました。社会人、大学生、高校生も来てくれてます。



ホリバタ事業に興味関心がある方なら、何人からでも受け入れ可能です。お時間に合わせて、説明や館内見学ツアーを実施します。どんな思いで取り組んでいるか、どんな内容の事業なのか、来てくださる方と意見交換も実施中。

勉強にも、息抜きにも

ホワイトボードが使えます

ラウンジに置いてあるホワイトボードやクリアボードは（スタッフに声を掛けて）自由に使えます。



これまで、小論文の苦手な友達に、得意な子が解説をしたり、お互いに暗記物を出題しあったり、気分転換に絵を描く人もいます。

2階自習室は、世代を問わず使える静かな空間

自習室があります

静かに勉強や読書をしたい人に好評な自習室。受付で番号札を受け取ってから、利用してください。



番号札には、ホリバタからのエールとして、メッセージを記載しています。今日は何のメッセージが当たるかな。

一緒にホリバタをつくりたい

「ひとことカード」続けています

みんなと一緒に「ホリバタ」をつくりたい、との思いで始めました。



既に200枚以上の「ひとこと」が寄せられています。みんなとスタッフをつなぐツールとして「声」にはお返事を書いて、ラウンジに掲示しています。

Report

いつも発見のあるラウンジを目指して

ラウンジのレイアウトを、イベントや季節ごとにアレンジするのがホリバタ流。毎回スタッフ一同、「どうするのがみんなにとって一番いいか」と悩みながら、使い勝手が良くなるように、新たな活動が生まれる場となるように、工夫しています。今年度も大幅なレイアウト変更を2回、マイナーチェンジは数回、停滞とは縁遠いホリバタです！



未知との遭遇！

ホリバタ世代の展示スペースがあります

ラウンジの水槽は、宇和島水産高校さんの発表の場。今年度は、金魚やベタ、シロウオ、に加えて、「水のない水族館」と題して研究成果や技術を展示中。



各校の研究活動や作品などの発表、情報共有の場として、ラウンジに企画展示スペースを設けています。活用してみませんか。

<ラウンジの水槽の様子>



宇和島を離れても、つながることができる拠点

進学・就職後も活動拠点になります

大学で、仲間と取り組んでいる活動を「ホリバタで実施したい！」と相談を受けることが増えています。

市外の大学生と宇和島の中高生がつながり、交流できるのは大歓迎！ホリバタは、宇和島をフィールドに行う活動拠点、市外と市内の若者の交流拠点です。是非、コラボして、一緒に活動しましょう。お気軽にご相談ください。



スタッフ's Eyes

「おかえり」「ただいま」と言える場所に

3年目のホリバタ。帰省する度に顔を見せてくれる人も増えてきました。「お久しぶりです」「戻ってきましたー」「俺のこと覚えてますかー？」そんな会話から始まって、「今、大学でこんなことしてるんです」「ちょっとこれ見てください」と近況を報告してくれます。とても嬉しく、スタッフ冥利に尽きる瞬間です。いつでも戻ってきてね！

